

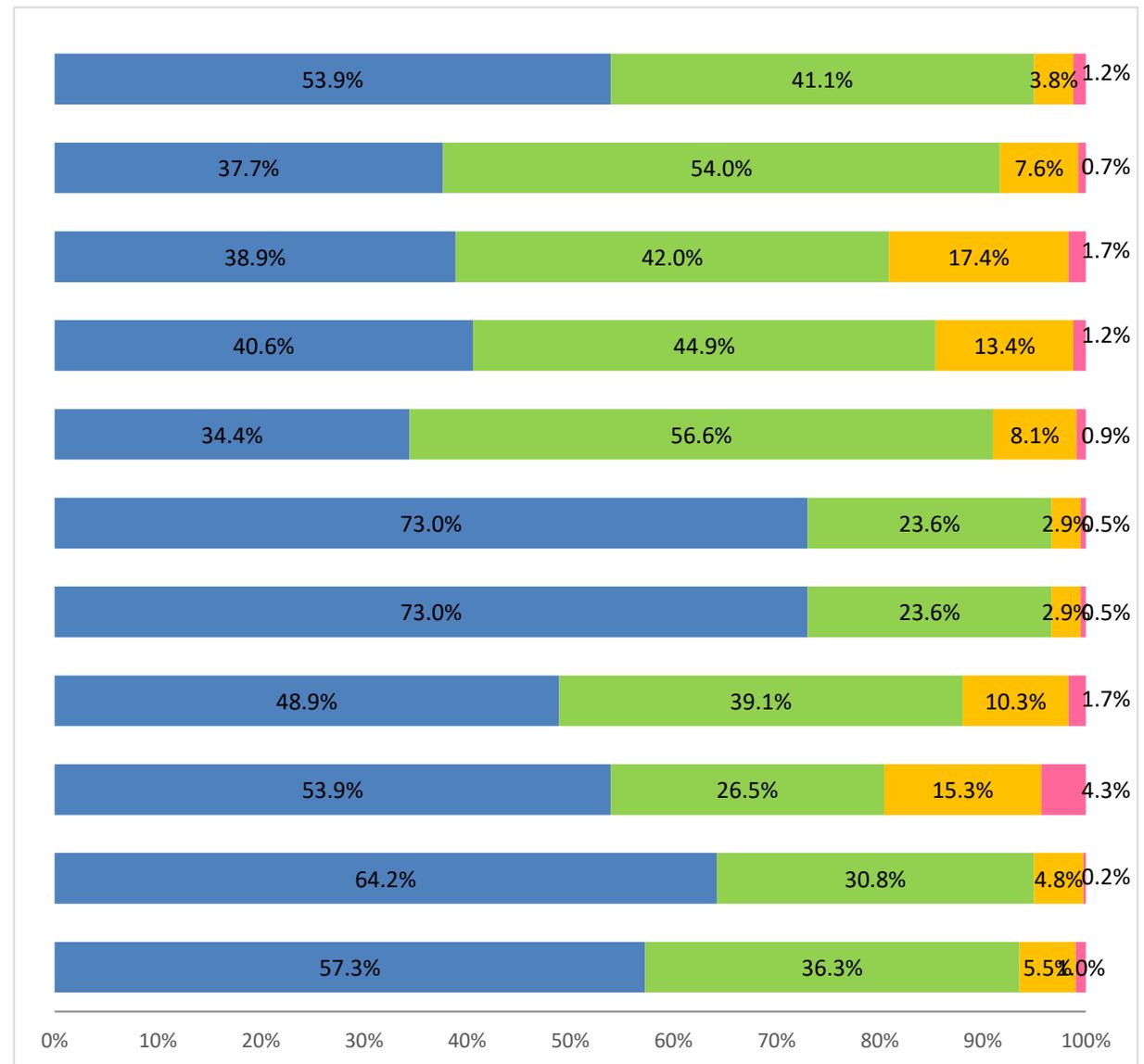
# 令和7年度 学校評価 児童アンケート

## 学校生活について

- 1 実施 令和7年12月  
2 対象 全校児童(回答419)

- A そう思う      B どちらかというと思う  
C どちらかというと思わない      D そう思わない

番号	アンケート項目	回答(パーセント)				A+B
		A	B	C	D	
1	学校は楽しいですか	53.9%	41.1%	3.8%	1.2%	95.0%
2	授業はよく分かりますか	37.7%	54.0%	7.6%	0.7%	91.7%
3	宿題を忘れずにやったり、持ち物の用意ができますか。	38.9%	42.0%	17.4%	1.7%	80.9%
4	授業中進んで自分の考えを発表したり、友達の話最後までしっかり聞くことができますか。	40.6%	44.9%	13.4%	1.2%	85.4%
5	時間を守ったり、決まりを守ったりして生活できますか。	34.4%	56.6%	8.1%	0.9%	91.0%
6	友達や地域の人とあいさつをすることができますか。	73.0%	23.6%	2.9%	0.5%	96.7%
7	友達となかよく生活していますか。	73.0%	23.6%	2.9%	0.5%	96.7%
8	病気やけがをしないように気をつけて生活していますか。	48.9%	39.1%	10.3%	1.7%	88.1%
9	学校のことや友達のことを家族で話しますか。	53.9%	26.5%	15.3%	4.3%	80.4%
10	毎日おいしく給食や食事を食べていますか。	64.2%	30.8%	4.8%	0.2%	95.0%
11	中部小のことが好きですか。	57.3%	36.3%	5.5%	1.0%	93.6%



- (1)「3」「9」以外については、令和6年度からA+Bの値が上昇した。特に「4」については、5%上昇し、児童が話すことと聞くことに自信をもってきたことが伺える。さらに「6」については、昨年度より約11%上昇し、児童会や6年生をはじめ、全校で取り組んできた成果が表れている。
- (2)「3」は、昨年度とほぼ同等の結果であるが、A+Bの値はやや下落した。学校での指導及び家庭にも協力をはたらきかけていく。
- (3)「9」は、昨年度とほぼ同等の結果であるが、A+Bの値はやや下落した。学校で、家に帰って話したいということができるように日々の授業、活動を充実していく。
- (4)「10」は、本年度からの新規項目。A+Bの値は高いものの、楽しく食べることができない児童がいるのは課題。楽しく会食することを含め、食育の継続及び充実を図っていく。
- (5)「2」については、「1」と大きく関係することである。児童の「分からない」を大切に、「分からない」と言える学級や友達との関係づくりに努める。
- (6)「11」について、中部小学校のことは全ての児童に好きになってほしいと願っている。今後も一人一人を大切にしつつ、できた、分かった、楽しかった経験を積めるようにしていく。
- (7)いずれの項目にもDと回答する児童がいる。児童との日常的な関わりや小さな変化に気づけるように、いろいろな教師がいろいろな児童と関わり合っていく。そのために、教科担任制を継続したり、教職員間での情報共有の機会を定期的に設けたりして児童理解に努める。